



令和5年度**後期** 高大連携授業
シラバス(科目概要)



大学コンソーシアムあきた

目 次

〔1〕 産学官連携による日本酒を通じた地域活性化（秋田大学、 <u>秋田清酒株式会社</u> 、 <u>大仙市</u> ） 《特別授業》	1
〔2〕 秋田の歴史―大名・蘭画・伝道―（秋田大学）	2
〔3〕 生活の中の算数・数学（秋田大学）	3
〔4〕 秋田の今とこれから（秋田大学）	4
〔5〕 百年戦争：世界史熟考（秋田大学）	5
〔6〕 覗いてみようメディカルスタッフの研究（秋田大学）	6
〔7〕 化学の目で最新のニュース解説（秋田大学）	7
〔8〕 文理融合の色彩光学入門（秋田大学）	8
〔9〕 整数論と暗号理論（秋田大学）	9
〔10〕 グラフ理論の楽しい問題（秋田大学）	10
〔11〕 ロボットを制御してみよう（秋田大学）	11
〔12〕 高校生のための SOS の出し方・受け方講座（秋田大学）	12
〔13〕 「科学」とは何か？（秋田大学）	13
〔14〕 教職の世界<中央会場>（秋田大学）	14
〔15〕 教職の世界<県北会場>（秋田大学）	15
〔16〕 教職の世界<県南会場>（秋田大学）	16
〔17〕 これからの電気・情報工学（秋田県立大学）	17
〔18〕 人工知能とロボット技術の体験学習（秋田県立大学）	18
〔19〕 マイコンによる組み込みシステム講座（秋田県立大学）	19
〔20〕 体験！ Building Information Modeling（秋田県立大学）	20

[21] 数理モデルとデータ分析（秋田県立大学）	21
[22] イギリス演劇研究基礎（秋田県立大学）	22
[23] 高校生のための英語プレゼンテーション（秋田県立大学）	23
[24] 不思議な木（秋田県立大学）	24
[25] 国際教養学への招待（国際教養大学）	25
[26] 日本商工会議所簿記3級を取得しよう（ノースアジア大学）	26
[27] Eコマースで広がる秋田の未来（ノースアジア大学）	27
[28] 心を知る・心をケアする（ノースアジア大学）	28
[29] 高校生のための世界遺産入門（ノースアジア大学）	29
[30] ユニバーサルツーリズムとSDGs II（ノースアジア大学）	30
[31] 「となりのトトロ」の映画翻訳から探る英米文化と日本文化の比較（ノースアジア大学）	31
[32] 歩きスマホを罰したい！（ノースアジア大学）	32
[33] 人間の性について考えてみよう（日本赤十字秋田看護大学）	33
[34] 赤十字への招待（日本赤十字秋田看護大学）	34
[35] 「湧水地点(ゆうすいちてん)」の取り組みの紹介（秋田公立美術大学）	35
[36] 多様な子どもと共に育つ保育（聖霊女子短期大学）	36
[37] 知的障がいのある青年の生涯学習機会（聖霊女子短期大学）	37
[38] 食品と栄養の基礎知識（聖霊女子短期大学）	38
[39] 英語の謎とヒミツ（聖霊女子短期大学）	39
[40] 身近な社会福祉の問題を考えてみよう（日本赤十字秋田短期大学）	40

〔41〕 楽しく学べる保育科入門（聖園学園短期大学）	41
〔42〕 3Dプリンターの活用法（秋田職業能力開発短期大学校）	42
〔43〕 Webアプリケーションの製作（秋田職業能力開発短期大学校）	43
〔44〕 大工用工具の使用方法（秋田職業能力開発短期大学校）	44

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[1] 産学官連携による日本酒を通じた 地域活性化	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 地域文化学科 准教授 益満 環 (計3名)
授業概要	本授業では、大仙市内の5つの酒蔵、大仙市、秋田大学益満ゼミが連携し、醸造した日本酒「宵の星々」について取り上げます。日本酒を活用した大仙市の地域活性化について、産学官の立場から解説します。		
授業方針	パワーポイントのスライドを使って授業を進めます。秋田の代表的な地場産品である日本酒や日本酒による地域活性化に興味のある生徒であれば、文系・理系を問わず、受講を歓迎いたします。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 教育文化学部3号館2階3-255教室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 30名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「秋大生が酒造り!? 日本酒による地域活性化」 秋田大学教育文化学部地域文化学科 准教授 益満 環 <u><11月11日(土)9:30~11:00></u> 秋大生による日本酒造りを通じた地域活性化について説明します。</p> <p>第2講: 「持続可能な酒造りの在り方について」 秋田清酒株式会社代表取締役社長 伊藤 洋平 <u><11月11日(土)11:10~12:40></u> 当社の歴史と酒造り、そしてその先100年につなぐ想いをお伝えします。</p> <p>第3講: 「大仙市農林部の「農業と食」による地域活性化」 大仙市農林部農業振興課主幹 高橋 勉 <u><11月11日(土)13:20~14:50></u> 農業と食に関する活性化基本構想による地域活性化の取組みについて</p>			
その他	筆記用具		
テキスト	特になし		
参考文献	特になし		
関連科目	特になし		

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[2] 秋田の歴史一大名・蘭画・伝道一	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 地域文化学科 准教授 佐藤 猛 (計3名)
授業概要	高校の歴史の授業において、秋田の歴史をまとめて学ぶ機会はないでしょう。江戸時代から明治にかけて、日本が近代化と国際化を進めた時代の秋田では、何が起こっていたのでしょうか。一緒に考えてみましょう。		
授業方針	歴史といえば暗記科目という印象があるかと思いますが、この授業では、その時代に残された記録や図像を見て、そこから考えを深めることを目指します。		
会場・教室	カレッジプラザ 講堂		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 50名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「江戸時代の秋田」 講師 清水 翔太郎 <u><11月4日 (土) 9:30~11:00></u> 江戸時代、現在の秋田県の領域には、秋田藩佐竹家のみならず、亀田藩岩城家、本荘藩六郷家といった大名家が存在していました。秋田県下の大名の特徴や大名が築いた城や城下町について絵図などをもとに学びます。</p> <p>第2講: 「秋田蘭画—世界に挑んだ、珠玉の絵画作品の成立」 准教授 佐々木 千佳 <u><11月4日 (土) 11:10~12:40></u> 江戸時代半ば、秋田藩の武士達によって秋田蘭画とよばれる西洋と東洋の美が融合した作品が生まれました。彼らはどのように西洋文化を受容したのか。作品を観察し、博物学研究や蘭学者との交流からその成立と特質を捉えます。</p> <p>第3講: 「イザベラ・バードの秋田旅行」 准教授 佐藤 猛 <u><11月4日 (土) 13:20~14:50></u> 明治10年(1878)に日本を訪れた英国女性イザベラ・バードは、秋田も訪れています。その記録である『日本奥地紀行』を読みながら、当時の秋田と異文化との接触について考えます。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[3] 生活の中の算数・数学	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 学校教育課程 講師 加藤 慎一 (計1名)
授業概要	数学的な見方・考え方を働かせながら日常生活の中で活用されている算数・数学を考察する活動を通して、算数・数学を学ぶことよさについて考えたり、算数・数学の理解を広げ深めたりしましょう。		
授業方針	高校生のみなさんが主体的に考えることを大切にします。スライドや黒板を使い、体験的な活動を取り入れながら授業を進めていきます。必要に応じて、資料を配布します。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 15名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「生活の中の算数・数学①「数と式」編」 <u><11月7日(火)17:30~19:00></u> 日常生活の事象を数と式に着目して捉えることによって、それらの構造を簡潔、明瞭、的確に表現することができるようになります。活動を通して、日常生活の中で活用されている数と式について考えます。</p> <p>第2講: 「生活の中の算数・数学②「関数」編」 <u><11月14日(火)17:30~19:00></u> 2つの数量の関係を関数としてみなし考察することによって、日常生活の事象の構造を明らかにできたり、未知の状況を予測できたりします。活動を通して、日常生活の中で活用されている関数について考えます。</p> <p>第3講: 「生活の中の算数・数学③「統計」編」 <u><11月21日(火)17:30~19:00></u> 日常生活の中において、よりよいサービスを提供するためなど様々な状況で統計が役立っています。活動を通して、日常生活の中で活用されている統計について考えます。</p>			
その他	特になし		
テキスト	講義内容をまとめたプリントを毎回配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[4] 秋田の今とこれから	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 地域文化学科 教授 臼木 智昭 (計1名)
授業概要	少子・高齢化が進む秋田の「今とこれから」について解説します。秋田が直面する課題や、秋田の産業のこれから、地域活性化に向けた取り組みなどについて、最新のデータや具体的な事例を交えながらお話しします。		
授業方針	地域課題とその解決に関心がある生徒であれば、文系・理系を問わず受講を歓迎します。		
会場・教室	カレッジプラザ 講堂		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 50名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「秋田の課題」 <u><11月25日(土)11:10~12:40></u> 最新のデータをもとに、秋田県が直面する課題を解説します。</p> <p>第2講: 「秋田の産業—今とこれから—」 <u><11月25日(土)13:20~14:50></u> 秋田県の産業はどのような状況にあって、これからどうなっていくのかを解説します。</p> <p>第3講: 「地域活性化に向けた取り組み」 <u><11月25日(土)15:00~16:30></u> 地域活性化に向けた秋田県内の取り組みを紹介します。</p>			
その他			
テキスト	授業の内容をまとめた資料を配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	公共、政治経済、現代社会		

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[5] 百年戦争：世界史熟考	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 地域文化学科 准教授 佐藤 猛 (計1名)
授業概要	高校世界史の中で、「中世ヨーロッパ」はイスラームの拡大と中国の宋・元時代に挟まれるとともに、様々な民族や事件が登場する難解な単元です。その最大の事件である百年戦争をひもといてみましょう。		
授業方針	教科書に登場する事件をじっくり考えることが目標です。そのために、授業では、中世の時代に残された記録や画像を一緒に読み解きながら進めます。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：50名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「フランス王位継承問題：背景と原因」 <10月14日 (土) 9:30~11:00> フランス・カペー王家の断絶、フランドルの羊毛取引をめぐる権益、イングランド王の大陸領土等が複雑に絡んだ戦争の背景について、考えます。</p> <p>第2講：「クレシー・オルレアン・パリ：戦闘と戦術」 <10月14日 (土) 11:10~12:40> 中世ヨーロッパの戦場のあり方は近現代の戦争とは大きく違い、キリスト教の世界観も深く関わっていました。会戦・攻囲戦・奇襲戦を取り上げます。</p> <p>第3講：「交渉の100年：休戦と和平」 <10月14日 (土) 13:20~14:50> 英仏双方の軍が直接ぶつかりあった会戦が少ないのが、百年戦争の特徴のひとつです。戦闘以上に長い時間がかかれた和平交渉のあり方を考えます。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[6] 覗いてみようメディカルスタッフの研究	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	医学部 保健学科 助教 津軽谷 恵 (計3名)
授業概要	医療職の中でメディカルスタッフと言われている看護職、理学療法士、作業療法士はどのような研究をしているか知っていますか。今まで知らなかった学問の世界が広がる内容です。		
授業方針	研究と言っても堅苦しい講義ではありませんので是非参加してください。看護職、理学療法士、作業療法士への理解が深まるお話です。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：30名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「妊婦さんと歯周病 看護職者ができる支援とは？」 准教授 成田 好美 <u><11月15日(水)17:30~19:00></u> 妊娠中の歯周病がお母さんや赤ちゃんに与える影響と看護職者ができる支援についてお話しします。</p> <p>第2講：「スポーツでの怪我をどう防ぐ？」 講師 齊藤 明 <u><11月22日(水)17:30~19:00></u> スポーツ障害をいかに予防するか？再発を予防するためにどんなアプローチが必要か？理学療法士のあっと驚く技や魅力を紹介します。</p> <p>第3講：「人にとって作業とは？」 助教 津軽谷 恵 <u><11月29日(水)17:30~19:00></u> 人の日常生活はたくさんの作業の連続から成り立っています。普段何気なく送っている日常生活を作業という視点から分析し、作業療法では作業をどのように用いるかについてお話しします。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	〔7〕 化学の目で最新のニュース解説 (化学の視点でニュースを理解しよう)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 物質科学科 教授 寺境 光俊 (計3名)
授業概要	化学は、縁の下の力持ちとして、現代社会の様々な分野で活用されています。本授業では最近ニュースで話題になっているトピックスを取り上げ、化学の視点から原理や問題点などを分かり易く解説します。		
授業方針	スライドを用いた講義形式で行います。受講者の理解を確認しながら、最新の話題を化学の観点から易しく楽しく解説したいと思います。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 理工学部4号館229教室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 40名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「マイクロプラスチック問題とは？」 教授 寺境 光俊 <u><11月18日(土)9:30~11:00></u> プラスチック材料は我々の社会で欠かすことの出来ない素材となっていますが、最近ではマイクロプラスチック問題という新たな課題に直面しています。高分子化学の観点から分子構造と特性について分かり易く解説します。</p> <p>第2講: 「リチウムイオン電池の仕組みと魅力を理解しよう」 教授 大川 浩一 <u><11月18日(土)11:10~12:40></u> 今や生活の必需品であるスマートフォン。その電力供給源は、2019年のノーベル化学賞で注目された「リチウムイオン電池」です。その仕組みや魅力について、電気化学の視点から分かり易く解説します。</p> <p>第3講: 「生化学の視点からウイルスについて学ぶ」 助教 横田 早希 <u><11月18日(土)13:20~14:50></u> ウイルスってなに? 新型コロナウイルスとはどのようなウイルス? PCRとは? ニュースで耳にするワードを生化学の視点から分かり易く解説します。</p>			
その他	筆記用具等		
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を配付します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	化学		

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	リアルタイム遠隔授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[8] 文理融合の色彩光学入門	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 数理・電気電子情報学科 教授 山口 留美子 (計1名)
授業概要	人はどのように色を認知しているかを心理学, 生理学, 物理学, および工学の分野から講義します。油絵・水彩画, 印刷技術, CGの色彩表示, における基礎的なカラーマネージメント原理, 色の定量化, を学びます。		
授業方針	人の「色覚」に関し, 心理学, 生理学, 物理学の側面から学び, 美術, デザインに関心のある文系学生から, 色と光のスペクトルの関係や色を認知するまでの生体の仕組み, フルカラー表示による情報伝達を含めたディスプレイ技術に関心のある理系学生へ, 様々な領域の学問がかかわり, 影響しあっている文理融合としての「色彩光学」を学ぶ。		
会場・教室	リアルタイム遠隔授業		
会場住所	リアルタイム遠隔授業のため、会場なし（ご自宅等で受講してください）。		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課（平日8：30～17：00） 電話：018-889-2843（大学コンソーシアムあきた事務局） E-mail：kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
遠隔授業時連絡先	（当日緊急時のみ）科目担当者E-mail：yrumiko@gipc.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：15名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「人の「色覚」」 ＜10月16日(月)17：30～19：00＞ 心理学, 生理学, 物理学の側面における色覚を解説する			
第2講：「加法混色と減法混色」 ＜10月17日(火)17：30～19：00＞ 加法混色と減法混色の違いについて解説し, それぞれのフルカラー表現方式を学ぶ。			
第3講：「色の定性的評価と定量的評価」 ＜10月18日(水)17：30～19：00＞ 色の定性的評価と定量的評価の違いを解説し, 定量化の種類とそれらの違いおよび特徴を学ぶ			
第4講：「照明器具とカラーマネージメント」 ＜10月19日(木)17：30～19：00＞ 身の回りの照明器具の種類により, 色の見え方に違いが生じること, それによるカラーマネージメントやユニバーサルデザインについて学ぶ。			
その他	なし		
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	美術 生物 物理 数学		

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[9] 整数論と暗号理論	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 数理・電気電子情報学科 教授 山村 明弘 (計1名)
授業概要	整数論は抽象的で難解とされていますが、情報セキュリティの根幹を担う暗号技術に活用されています。この授業では素数の性質や素因数分解からフェルマーの定理まで初等整数論の理論と応用について紹介します。		
授業方針	パワーポイントのスライドを用いた授業に加えて実験や実習を通して数学が我々の生活に役立っていることを感じることができる授業を行います。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟1階		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 15名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「素数の性質と素因数分解」 <u><10月28日(土)13:20~14:50></u> 素数の性質と最大公約数を求めるユークリッドの互除法を活用して関連する不定方程式 (Bezoutの等式) を解いてみます。素因数分解に関連する様々な話題を紹介します。</p> <p>第2講: 「初等整数論と公開鍵暗号」 <u><11月4日(土)13:20~14:50></u> 整数論を活用した公開鍵暗号技術であるRSA暗号の仕組みを平易に解説します。純粋数学の整数論が情報セキュリティに役に立っていることを理解して、整数論を活用した応用技術について学びます。</p>			
その他	特になし		
テキスト	特になし		
参考文献	特になし		
関連科目	数学、情報		

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (学名)	[10] グラフ理論の楽しい問題 (オイラーの公式とその応用)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 数理・電気電子情報学科 ファゼカス シラード 准教授 Fazekas Szilard (計1名)
授業概要	頂点、辺、面の数を平面グラフで関連付けるオイラーによる単純だが強力な式を見えます。そして、ピザのカットから地図の塗り分けまで、いくつかの楽しい応用例を示します。		
授業方針	授業は主に英語で行われますが、スライドは日本語に翻訳されます。スライドと黒板を使って、式の導出方法を簡単に説明しますが、応用と演習に焦点を当て、数学が日常生活とどのように関連しているかを強調します。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟 1階講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「ピザカッターの問題」 <u><11月11日(土)13:20~14:50></u> N回の直線カットで何枚のピザスライスを得ることができるでしょうか？初歩的な方法を用いて再帰関係と閉じた式を導き出し、この問いに答えます。この文脈でオイラーの公式を導入し、別の方法で答えを導き出します。</p> <p>第2講：「オイラーの公式とその地図彩色への応用」 <u><11月18日(土)13:20~14:50></u> オイラーの公式の単純な証明のアイデアを提示し、その後、それを用いて任意の地図を最大6色で正確に彩色できることを示します。</p>			
その他	ノートと筆記用具		
テキスト	特になし		
参考文献	特になし		
関連科目	数学		

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[11] ロボットを制御してみよう	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	新学部設置準備担当 講師 南斉 俊佑 (計1名)
授業概要	ロボットを思い通りに動かすには制御が不可欠です。実際に身の回りにもたくさんの制御が使われています。ロボットの制御を実際に体験することで、世の中に潜む制御の役割を体験してほしいと思います。		
授業方針	スライドを用いた座学と、体験型の実習により講義します。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 理工学部6号館1階講義室 (総研棟1階講義室)		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 5名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「ロボットの構成要素と制御」 <u><11月25日(土)9:30~11:00></u> 本講座では、ロボットの構成要素である機械、電気電子、情報、制御について説明します。それぞれの要素はロボットを思い通りに動かすために必要不可欠な要素です。それぞれの要素の役割などを、座学を通して学びます。</p> <p>第2講: 「ロボットの組み立て」 <u><11月25日(土)11:10~12:40></u> 本講座では、実際にロボットの組み立てを体験し、その仕組みについて説明します。ロボットの組み立てというメカメカした印象がありますが、実はそれだけでなく、センサやアクチュエータのような電気電子や情報の要素も含まれています。また近年では3Dプリンタなどの次世代の加工機を用いてよりスマートにロボットを作ることができるようになっていきます。</p> <p>第3講: 「ロボットの制御」 <u><11月25日(土)13:20~14:50></u> 本講座では、PID制御を実装することで、その役割を体験します。実際に自分でチューニングすることで情報が機械の挙動に与える影響を体験してもらいたいと思います。</p>			
その他	昼食を持参してください		
テキスト	実習教材を配布します		
参考文献			
関連科目	数学, 物理, 情報		

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	リアルタイム遠隔授業	大学等名	秋田大学
科目名 (ﾌﾞﾗｲﾄﾙ)	[12] 高校生のためのSOSの出し方・受け方講座 (自分を守る?他人を守る?)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	自殺予防総合研究センター 特任助教 宮本 翔平 (計1名)
授業概要	こころの健康を良好に保つには、悩みやストレスへの上手な対処方法や友達の悩みを聴くスキルの習得が重要です。本講座は、SOSの出し方・受け方を学習し、自分と友達を守るスキル習得を目標とします。		
授業方針	全てリアルタイム遠隔授業を実施します。課題等はありません。		
会場・教室	リアルタイム遠隔授業		
会場住所	リアルタイム遠隔授業のため、会場なし（ご自宅等で受講してください）。		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課（平日8：30～17：00） 電話：018-889-2843（大学コンソーシアムあきた事務局） E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
遠隔授業時 連絡先	(当日緊急時のみ) 科目担当者E-mail：jyobou@gipc.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：50名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「高校生のためのセルフケア-コーピング特性とSOS-」			
＜11月25日(土)9：30～11：00＞ あなたは悩みやストレスを感じた時にどのようにして対処しますか？ストレスコーピング理論をもとに、自分のストレス対処特性を考えます。また、SOSの出し方について学習します。			
第2講：「高校生のためのSOSの出し方実践」			
＜11月25日(土)11：10～12：40＞ 第2講で学習したSOSの出し方について、ソーシャルスキルズトレーニングを行います。また、自分が危機に陥った際にどのような対処方法を選択すればよいかを考える演習を行います。			
第3講：「高校生のためのゲートキーパー養成①」			
＜11月26日(日)9：30～11：00＞ あなたの周りに「死にたい」とサインを出している人はいませんか？その人たちに自信を持って対応できますか？自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を行うための知識とスキルを習得します。			
第4講：「高校生のためのゲートキーパー養成②」			
＜11月26日(日)11：10～12：40＞ 第3講で学習したことをもとに演習を行います。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[13] 「科学」とは何か？	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	高等教育グローバルセンター 助教 服部 圭祐 (計1名)
授業概要	現代社会の基礎となっている「科学」とは、そもそも何なのでしょう。この授業では、「科学」という枠組が、なぜ・どのようなものとして日本に導入されたかを知り、今の「科学」のありかたについて振り返ります。		
授業方針	プリントによる講義と、簡易的なディスカッションを併用しつつ授業を進めます。この授業でいう「科学」は、物理学や工学などの「自然科学」だけではなく、哲学・歴史学・法学などの「人文科学」「社会科学」も含むので、多様な関心を持つ学生の参加を期待します。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 15名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「「文明開化」と学問の必要性」 <u><10月10日(火)17:30~19:00></u> 明治時代において「科学」の枠組みの基礎となる考え方を日本に広めた福沢諭吉(1835-1901)の思想について、『学問のすゝめ』(1872)などの内容に即して解説します。			
第2講: 「文明発展のための知識としての「科学」」 <u><10月17日(火)17:30~19:00></u> 福沢諭吉と同時代に「科学」という枠組を日本で初めて具体的に提示した西周(にし・あまね、1829-1897)の思想について、そこでいわれる「科学」がどのようなものかに着目しつつ解説します。			
第3講: 「文明人を育てる教育と「科学」の役割」 <u><10月24日(火)17:30~19:00></u> 学校教育と「科学」の関係について、日本の学校教育の基礎となった法律「学制」(1872)に福沢諭吉や西周の思想がどのように影響しているかを見つつ、解説します。			
その他	筆記用具を持参してください。		
テキスト	毎回の講義でプリントを配布します。		
参考文献	講義内で適宜紹介します。		
関連科目	日本史、公共、倫理		

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[14] 教職の世界<中央会場> (教職への展望を拓く)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	客員教授 伊藤 成年 (計1名)
授業概要	教職を目指す高校生のための講座です。教師という職業の概要について学ぶとともに、学習指導案の読み取りや学習指導案(略案)の作成、教育専門監の授業(ビデオ)を教材に授業づくりの要点等についても具体的に学びます。また、秋田県教育の特色や教師に必要とされる資質・能力について講義やグループ協議を通して学び、教職を志す高校生のキャリア発達を促します。		
授業方針	授業は講義と演習を組み合わせで行います。内容によっては、グループワークや全体での協議・発表が中心となりますので主体的な参加が期待されます。受講者の事前準備は必要ありません。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 40名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「教職の世界とその魅力」			
<10月14日(土) 10:30~12:00>			
自らの教職体験をもとに、児童生徒と教師との関わりによって紡ぎ出される教職の真の魅力について伝えるとともに、教職の世界について正しい理解が得られるようにします。また、受講者が、それぞれどのような教師像を抱いているのかについてグループで語り合い、互いに教職を目指す心を見つめ直し、考えを深めることができますようにします。(公立小学校採用の若い教員による講話40分程度を含む)			
第2講: 「これからの(近未来の)学校教育と教師の役割」			
<10月14日(土) 13:00~14:30>			
文部科学省は目指すべきこれからの学校教育の姿を「令和の日本型学校教育」として、全ての児童の可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を図るとしています。そのために、高速大容量のネットワーク環境と児童生徒一人ひとりに学習用端末を2020年度中に導入整備しました。このようなICT(Information and Communication Technology: 情報通信技術)環境の整備が学校教育にどのような変化をもたらすのか、また、教師の役割・働き方は変わるのか。近未来の教育の姿について考察します。			
第3講: 「『授業』という営みー授業ビデオ(教育専門監)の視聴を通して優れた授業の条件を探るー」			
<10月21日(土) 10:30~12:00>			
学校の日課はほぼ授業で占められています。授業は、児童生徒にどのような力を身に付けさせるのか等、ねらいや手立て・評価等の考え方が事前にしっかりと設計されている必要があります。児童生徒の学びを深める授業の在り方について、授業力に秀でた教育専門監の授業ビデオの視聴を通して考察し、児童・生徒を引きつける教師の態度や振る舞い、学習意欲の引き出し方等について学びます。(公立中学校採用の若い教員による講話40分程度を含む)			
第4講: 「学習指導案の見方と学習指導案(略案)の作成、模擬授業の提示」			
<10月21日(土) 13:00~14:30>			
教育専門監の授業ビデオの視聴やサンプルの学習指導案をもとに、魅力的な授業を展開するための方法等(主に「授業構想」)について学ぶとともに、児童生徒の興味・関心を引きつける授業(特に導入部分)の在り方・演じ方について具体的に考察します。また、特定教材の導入部分の学習指導案(略案)をグループで協議しながら作成し、それを練り上げ発表します。(グループ協議・演習)			
第5講: 「秋田県教育の特色(全国学力・学習状況調査結果等の分析から)及び教師に必要とされる資質・能力について」			
<10月28日(土) 13:00~14:30>			
全国学力・学習状況調査において、毎回全国トップレベルの秋田県児童生徒の学力や質問紙にみる生活状況、家庭学習等の実態を把握し、その成果や課題等について考えます。また、このような成果が、教員の熱心な研修姿勢や地域社会の協力、県・市町村教育委員会の特色ある教育行政施策によってもたらされていることについて学びます。すぐれた秋田県教育の実状について幅広い知見を得ることができます。さらに、教師に必要とされる資質・能力とは何かについて考えます。			
その他	14日、21日は昼食を持参ください。(昼食時間 12:00~13:00)		
テキスト	なし(講義資料を配布する)。		
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブID)	[15] 教職の世界<県北会場> (教職への展望を拓く)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	客員教授 伊藤 成年 (計1名)
授業概要	教職を目指す高校生のための講座です。教師という職業の概要について学ぶとともに、学習指導案の読み取りや学習指導案(略案)の作成、教育専門監の授業(ビデオ)を教材に授業づくりの要点等についても具体的に学びます。また、秋田県教育の特色や教師に必要とされる資質・能力について講義やグループ協議を通して学び、教職を志す高校生のキャリア発達を促します。		
授業方針	授業は講義と演習を組み合わせで行います。内容によっては、グループワークや全体での協議・発表が中心となりますので主体的な参加が期待されます。受講者の事前準備は必要ありません。		
会場・教室	秋田県立大館国際情報学院高等学校		
会場住所	秋田県大館市松木字大上25番地の1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 40名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「教職の世界とその魅力」			
<10月1日(日) 10:00~11:30>			
自らの教職体験をもとに、児童生徒と教師との関わりによって紡ぎ出される教職の真の魅力について伝えるとともに、教職の世界について正しい理解が得られるようにします。また、受講者が、それぞれどのような教師像を抱いているのかについてグループで語り合い、互いに教職を目指す心を見つめ直し、考えを深めることができますようにします。(公立小学校採用の若い教員による講話40分程度を含む)			
第2講: 「これからの(近未来の)学校教育と教師の役割」			
<10月1日(日) 12:30~14:00>			
文部科学省は目指すべきこれからの学校教育の姿を「令和の日本型学校教育」として、全ての子供達の可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を図るとしています。そのために、高速大容量のネットワーク環境と児童生徒一人ひとりに学習用端末を2020年度中に導入整備しました。このようなICT(Information and Communication Technology: 情報通信技術)環境の整備が学校教育にどのような変化をもたらすのか、また、教師の役割・働き方は変わるのか。近未来の教育の姿について考察します。			
第3講: 「『授業』という営みー 授業ビデオ(教育専門監)の視聴を通して優れた授業の条件を探る ー」			
<10月1日(日) 14:15~15:45>			
学校の日課はほぼ授業で占められています。授業は、児童生徒にどのような力を身に付けさせるのか等、ねらいや手立て・評価等の考え方が事前にしっかりと設計されている必要があります。児童生徒の学びを深める授業の在り方について、授業力に秀でた教育専門監の授業ビデオの視聴を通して考察し、児童・生徒を引きつける教師の態度や振る舞い、学習意欲の引き出し方等について学びます。(公立中学校採用の若い教員による講話40分程度を含む)			
第4講: 「学習指導案の見方と学習指導案(略案)の作成、模擬授業の提示」			
<10月7日(土) 10:00~11:30>			
教育専門監の授業ビデオの視聴やサンプルの学習指導案をもとに、魅力的な授業を展開するための方法等(主に「授業構想」)について学ぶとともに、児童生徒の興味・関心を引きつける授業(特に導入部分)の在り方・演じ方について具体的に考察します。また、特定教材の導入部分の学習指導案(略案)をグループで協議しながら作成し、それを練り上げ発表します。(グループ協議・演習)			
第5講: 「秋田県教育の特色(全国学力・学習状況調査結果等の分析から)及び教師に必要とされる資質・能力について」			
<10月7日(土) 12:30~14:00>			
全国学力・学習状況調査において、毎回全国トップレベルの秋田県児童生徒の学力や質問紙にみる生活状況、家庭学習等の実態を把握し、その成果や課題等について考えます。また、このような結果が、教員の熱心な研修姿勢や地域社会の協力、県・市町村教育委員会の特色ある教育行政施策によってもたらされていることについて学びます。すぐれた秋田県教育の実状について幅広い知見を得ることができます。さらに、教師に必要とされる資質・能力とは何かについて考えます。			
その他	昼食、上靴を持参ください。(昼食時間 11:30~12:30)		
テキスト	なし(講義資料を配布する)。		
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[16] 教職の世界<県南会場> (教職への展望を拓く)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	客員教授 伊藤 成年 (計1名)
授業概要	教職を目指す高校生のための講座です。教師という職業の概要について学ぶとともに、学習指導案の読み取りや学習指導案(略案)の作成、教育専門監の授業(ビデオ)を教材に授業づくりの要点等についても具体的に学びます。また、秋田県教育の特色や教師に必要とされる資質・能力について講義やグループ協議を通して学び、教職を志す高校生のキャリア発達を促します。		
授業方針	授業は講義と演習を組み合わせで行います。内容によっては、グループワークや全体での協議・発表が中心となりますので主体的な参加が期待されます。受講者の事前準備は必要ありません。		
会場・教室	秋田県立横手高等学校 定時制課程 青雲館		
会場住所	秋田県横手市前郷二番町10番1号		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話:018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数:45名】先着順で募集を締め切ります

第1講:「教職の世界とその魅力」

<11月4日(土)10:00~11:30>

自らの教職体験をもとに、児童生徒と教師との関わりによって紡ぎ出される教職の真の魅力について伝えるとともに、教職の世界について正しい理解が得られるようにします。また、受講者が、それぞれのどのような教師像を抱いているのかについてグループで語り合い、互いに教職を目指す心を見つめ直し、考えを深めることができますようにします。(公立小学校採用の若い教員による講話40分程度を含む)

第2講:「これからの(近未来の)学校教育と教師の役割」

<11月4日(土)12:30~14:00>

文部科学省は目指すべきこれからの学校教育の姿を「令和の日本型学校教育」として、全ての児童の可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を図るとしています。そのために、高速大容量のネットワーク環境と児童生徒一人ひとりに学習用端末を2020年度中に導入整備しました。このようなICT(Information and Communication Technology:情報通信技術)環境の整備が学校教育にどのような変化をもたらすのか、また、教師の役割・働き方は変わるのか。近未来の教育の姿について考察します。

第3講:「『授業』という営み - 授業ビデオ(教育専門監)の視聴を通して優れた授業の条件を探る -」

<11月4日(土)14:15~15:45>

学校の日課はほぼ授業で占められています。授業は、児童生徒にどのような力を身に付けさせるのか等、ねらいや手立て・評価等の考え方が事前にしっかりと設計されている必要があります。児童生徒の学びを深める授業の在り方について、授業力に秀でた教育専門監の授業ビデオの視聴を通して考察し、児童・生徒を引きつける教師の態度や振る舞い、学習意欲の引き出し方等について学びます。(公立中学校採用の若い教員による講話40分程度を含む)

第4講:「学習指導案の見方と学習指導案(略案)の作成、模擬授業の提示」

<11月11日(土)10:00~11:30>

教育専門監の授業ビデオの視聴やサンプルの学習指導案をもとに、魅力的な授業を展開するための方法等(主に「授業構想」)について学ぶとともに、児童生徒の興味・関心を引きつける授業(特に導入部分)の在り方・演じ方について具体的に考察します。また、特定教材の導入部分の学習指導案(略案)をグループで協議しながら作成し、それを練り上げ発表します。(グループ協議・演習)

第5講:「秋田県教育の特色(全国学力・学習状況調査結果等の分析から)及び教師に必要とされる資質・能力について」

<11月11日(土)12:30~14:00>

全国学力・学習状況調査において、毎回全国トップレベルの秋田県児童生徒の学力や質問紙にみる生活状況、家庭学習等の実態を把握し、その成果や課題等について考えます。また、このような成果が、教員の熱心な研修姿勢や地域社会の協力、県・市町村教育委員会の特色ある教育行政施策によってもたらされていることについて学びます。すぐれた秋田県教育の実状について幅広い知見を得ることができます。さらに、教師に必要とされる資質・能力とは何かについて考えます。

その他	昼食、上靴を持参ください。(昼食時間 11:30~12:30)
テキスト	なし(講義資料を配布する)。
参考文献	
関連科目	

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[17] これからの電気・情報工学	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 知能メカトロニクス学科 教授 岡本 洋 (計2名)
授業概要	近未来の電気工学・情報工学・通信工学について、高校生が知っている数学や理科の知識をもとに、2名の講師がお話をします。		
授業方針	特になし		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2009 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 12名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「再生可能エネルギーはなぜ必要か」 教授 岡本 洋 <u><10月7日(土)9:30~11:00></u> 地球温暖化と脱炭素、従来のエネルギー供給、未来のエネルギー技術の姿について学びます。</p> <p>第2講: 「高度情報化社会を支える無線通信技術」 准教授 戸花 照雄 <u><10月7日(土)11:10~12:40></u> 近年のAIをはじめとした高度な情報技術の発展において無線通信技術は欠かせないものになっています。本講義では高校物理で学ぶ電磁気学の基礎と無線通信技術について解説します。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[18] 人工知能とロボット技術の 体験学習	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 知能メカトロニクス学科 教授 齋藤 敬 (計2名)
授業概要	高校数学の範囲で理解できる人工知能技術やロボット技術について解説し、実際に作成して動作させる演習を通して科学技術への興味を深める。		
授業方針	こちらで用意したPC等の機材を用いてハンズオン形式で実施する。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2009 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 20名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「高校生のための人工知能開発演習」 准教授 伊藤 亮 <u><10月21日(土)13:20 ~ 14:50></u> Windowsで動作するフリーソフトを使用してニューラルネットワークを作成し、これに手書き数字のデータセット(MNIST)を学習させます。学習が済んだらこのAIをPythonのプログラムで動作させて、自分の書いた数字をWebカメラに映してきちんと判断できているか実験します。</p> <p>第2講: 「高校生のためのロボット開発演習」 教授 齋藤 敬 <u><10月21日(土)15:00 ~ 16:30></u> プログラミング言語LabVIEWを使用して、農業用ロボットの演習を行います。具体的にはアスパラガス収穫技術の基礎として、アスパラガスの模型を対象に、カメラでの画像処理とモーターを連動させ、どれだけ正確にアスパラガスの根元を自動的に指し示せるか、競技形式で試します。</p>			
その他	USBメモリがあると、関連プログラムや結果画像などを持ち帰れます。		
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を配布します。		
参考文献	なし		
関連科目	数学 I ~ III・A~C、物理、情報 I・II		

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[19] マイコンによる組み込みシステム講座	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 知能メカトロニクス学科 准教授 本間 道則 (計1名)
授業概要	ワンボードマイコンArduino (アルディーノ) を用いた電子回路実習を通じ、異なる分野の専門知識と技術の統合によって高度な機能を持った装置が実現できるというメカトロニクスの考え方を学ぶ。		
授業方針	Arduino、LEDを組み合わせた電子回路の作製とRaspberry Piを利用したプログラミングを行う。初学者を対象とする。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2009 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 10名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「Arduinoによるマイコンプログラミング」 <11月11日(土)13:20~14:50> Raspberry Piを用いてArduinoによるマイコンプログラミングを行う方法や、Arduino言語の概要について学びます。</p> <p>第2講: 「Arduinoによる電子回路の実装実習」 <11月11日(土)15:00~16:30> Arduinoを使ってLEDや各種センサを制御する電子回路の作製を通じて、組み込みシステムの概要について学習します。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[20] 体験! Building Information Modeling (情報技術を活用した秋田における建築デザイン 最先端業務の可能性)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 建築環境システム学科 准教授 込山 敦司 (計1名)
授業概要	BIMは、建築設計をデジタル3Dデータで扱い、設計から施工管理までを行う技術です。ネットワーク業務も可能で、地方の設計事務所の活躍の可能性が広がる技術でもあります。今回はその一部にふれていただきます。		
授業方針	社会人の付添人が送迎などで行っている場合、一緒に参加することも可とします(建築関係者など)。希望する方は、あらかじめ申込時にお知らせ下さい。		
会場・教室	秋田県立大学 本荘キャンパス 学部棟I 2階CAD室 (G I 209)		
会場住所	由利本荘市土谷字海老ノ口84-4		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2009 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 20名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「BIMの基礎: 空間構成を考える、3D操作を体験してみる」 <11月19日(日)12:50~14:20> BIMの概念や可能性について解説した後、壁や床などの作成ツールを使って、簡単な建物の造形にチャレンジしていただきます。</p> <p>第2講: 「BIMの応用: 素材を変える、光を変える、断熱性能を変える」 <11月19日(日)14:30~16:00> 単なる3DのCGではなく、BIMでは、壁の素材などの特性、断熱性能などの情報を扱います。これにより、温熱環境シミュレーションや、構造計算が可能となっています。簡単なモデルでシミュレーションを体験して下さい。</p>			
その他	マウスを操作して作図作業等を行える基礎的な能力があることを前提とします。		
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブID)	[21] 数理モデルとデータ分析 (高等学校で学んでいる数学の応用とその先を紹介)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 准教授 星野 満博 (計1名)
授業概要	数学は様々なところで活用され、役立っています。身近な題材をもとに、経営科学・応用数学・データサイエンスの内容を学ぶと共に、高校数学のその先を紹介します。数学が得意な人も、そうでない人も勉強できます。		
授業方針	データ・最適化・意思決定をキーワードとし、数理モデルの入門的内容を演習形式(自分で計算)で実施します。数学がどのように応用されているのか、例題を用いて学びます。大学での高度な数学や経営科学・データサイエンスについても紹介します。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2009 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 25名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「不確実性を伴う数理意思決定(確率を応用します)」</p> <p>＜10月28日(土)9:30~11:00＞</p> <p>現代社会において、不確実性と意思決定は非常に重要なキーワードです。例として買い物を考えます。何かを購入するとき、同じものであれば、できるだけ安く買いたい、その際、買うタイミングというのも一つの重要なファクターになります。今は買い時なのか、それとも今回パスして次回に買うべきか?このような未来の不確実な状況下での意思決定を、数学を使って考えてみましょう。この問題は高校数学とも関連していて、高度な数学が背景にあります。</p> <p>第2講: 「在庫管理の数理(関数の最大最小と微分を用います)」</p> <p>＜10月28日(土)11:10~12:40＞</p> <p>商品を作って/仕入れて、お客さんに販売するという場面において、その商品の製造/仕入れの個数(量)は重要な要素の一つとなります。たくさん作り/仕入れすぎると売れ残りが生じて損失を生みます。また、逆に、少なすぎると得られたはずの利益が無くなる等、こちらも良くありません。お客さんが購入したいと思う量(需要)に応じた最適な商品の個数を求める必要があります。この問題について、数学を用いて考えてみましょう。 ※微分を習っていないなくてもOKです。</p> <p>第3講: 「データサイエンス入門(データの活用、平均値を用います)」</p> <p>＜10月28日(土)13:20~14:50＞</p> <p>ここでは、主に時間の経過と共に変化するデータを扱い、予測やデータの特徴を見つける為の分析手法を紹介します。例えば、上記の第2講の問題では、分かっている過去のデータから、分かっている先の/来月の需要がどのくらいあるのかを予測できると、問題解決に向けて大きく前進できます。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[22] イギリス演劇研究基礎 (シェイクスピアを中心に)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合科学教育研究センター 准教授 山崎 健一 (計1名)
授業概要	現在テレビや映画など様々なかたちの演劇が存在するが、その原型ともいえるエリザベス朝時代の演劇について、様々な観点から学ぶ。日本語訳も用いて英語の苦手な方にもわかりやすく解説する。		
授業方針	英文を訳すことを主な内容とはしない。イギリス演劇や文化の背景、また文学研究のいくつかの手法について学ぶ。実際に作品に触れ、大学の文学部での講義を体験できるようにする。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2009 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「エリザベス朝演劇の背景と演劇研究法」 <u><11月11日(土)9:30~11:00></u> エリザベス朝演劇研究に必要な知識等について学ぶ。</p> <p>第2講：「シェイクスピアの作品を読む」 <u><11月11日(土)11:10~12:40></u> 実際にシェイクスピアの作品を読み、様々な解釈を試みる。</p>			
その他	辞書		
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[23] 高校生のための英語プレゼンテーション (秋田の魅力を発信！)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合科学教育研究センター 助教 尾崎 加奈 (計1名)
授業概要	テーマは自分たちの地域の魅力。各自でテーマを設定し、簡潔な英語で表現することを目指します。日本語との違いに注目し、文章の組み立て方、単語の選び方、スピーチ練習の方法等を丁寧に学びます。		
授業方針	学生を主体とした形式で行います。前半は英作文、後半はスピーチの練習に重点を置き、最後に一人ずつ発表をします。練習の際には、ペアまたはグループワークを取り入れます。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス (平日9:00~17:00) 電話: 018-872-1535 E-mail: adm@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 10名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「テーマの見つけ方から英語作文へ」 <u><10月14日(土)9:30~11:00></u> 題材研究、テーマ設定、英作文を行う。</p> <p>第2講: 「スピーチ練習から本番へ」 <u><10月14日(土)11:10~12:40></u> 英文スピーチの練習をし、実際に個人発表を行う。</p>			
その他	筆記用具		
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 能代キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[24] 不思議な木 (来て・見て・作ろう)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	木材高度加工研究所 教授 山内 秀文 (計4名)
授業概要	大館の曲げわっぱ、どうやって作るか知っていますか？ この講義ではその原理を解説するとともに、その原理を利用してペットボトルに入った木を実際に作ってみます。木の不思議な世界を体験しませんか？		
授業方針	物を作るには、そうなる原理があります。その原理も各自に考えてもらい、学ぶだけでなく、実際に見て、体験して、作ることがこの授業の方針です。授業に積極的に参加して、自分で作った不思議な木を持ち帰って下さい。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス (平日9:00~17:00) 電話: 018-872-1535 E-mail: adm@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 10名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「木を曲げる」 教授 山内 秀文 <u><10月21日(土)9:30~11:00></u> 森林・木材に関する基本的な事項を学ぶとともに、曲げわっぱ等の木材の変形の原理を学ぶ。			
第2講: 「ペットボトルに入った木を作ろう」 准教授 渡辺 千明 <u><10月21日(土)11:10~12:40></u> 第1講をもとに、どうやったらペットボトルに木を入れることができるか考え、実際にやってみる			
第3講: 「ねじれる木を作ろう」 助教 沈 昱東 <u><10月21日(土)13:20~14:50></u> 木をねじる? そんなことができるの? ここではその原理を学び、実際に作ってみる			
第4講: 「木の特性を変える」 准教授 野田 龍 <u><10月21日(土)15:00~16:30></u> 木材のもつ性質に「狂う」、「腐る」、「燃える」があげられる。本講では、これらの性質を化学的手法により変えることを学び、多様な木材利用について考える			
その他			
テキスト	当日、講義内容をまとめたプリント教材を配布します。		
参考文献	コンサイス木材百科 (秋田文化出版)、森林科学シリーズ4 「フォレスト・プロダクツ」 (共立出版)		
関連科目	物理、化学、生物		

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	国際教養大学
科目名 (サブタイトル)	[25] 国際教養学への招待 (Invitation to International Liberal Arts)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	国際教養学部 国際教養学科 助教 Miguel SOSA (計3名)
授業概要	世界を理解するには何が重要か、大学での「学問がいかに楽しいか」、国際感覚を身に付けるには高校時代に何を準備すべきか等を、国際教養大学の教員が各専門分野の研究結果を踏まえ、様々な角度から指導します。		
授業方針	演習やワークショップ形式を中心に行うため、積極的に授業に参加することが期待されます。なお、受講者による事前準備はありません。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	国際教養大学 入試室 (平日9:00~17:00) 電話: 018-886-5931 (入試室直通) E-mail: admissionoffice@gl.aiu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 30名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「What Are the Liberal Arts?」 助教 Miguel SOSA (ミゲル・ソーサ) <u><11月4日(土)11:10~12:40></u> In this presentation, the speaker will introduce a definition of Liberal Arts for today.</p> <p>第2講: 「Marketing and Innovation」 助教 Sungkyu LEE (スンキュー・リー) <u><11月4日(土)13:20~14:50></u> This course will expose participants to the opportunities and challenges of high-tech marketing.</p> <p>第3講: 「Politics in our Everyday Lives」 准教授 Kevin HOCKMUTH (ケビン・ハックムス) <u><11月4日(土)15:00~16:30></u> Learn how we participate in political activity during our everyday lives.</p>			
その他	講義は全て英語で行います。		
テキスト	特になし。(講義により資料を配布する可能性あり。)		
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[26] 日本商工会議所簿記3級を取得しよう	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	経済学部 教授 國井 法夫 (計1名)
授業概要	日本商工会議所簿記検定試験3級を取得するための授業と問題演習を行います。		
授業方針	出来るだけ欠席しない生徒を希望します。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 教務課 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 10名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「仕訳について」 <u><10月13日(金)17:30~19:00></u> 取引の8要素について</p> <p>第2講: 「転記について」 <u><10月20日(金)17:30~19:00></u> 転記の方法を問題演習する</p> <p>第3講: 「試算表の作成」 <u><10月27日(金)17:30~19:00></u> 問題演習</p> <p>第4講: 「決算整理」 <u><11月10日(金)17:30~19:00></u> 決算整理の方法を学ぶ</p> <p>第5講: 「8桁精算表の作成」 <u><11月17日(金)17:30~19:00></u> 決算仕訳から精算表の転記して完成させる</p> <p>第6講: 「損益計算書・貸借対照表の作成」 <u><11月24日(金)17:30~19:00></u> 財務諸表の作成方法を学ぶ</p>			
その他	計算機		
テキスト	プリントで実施する		
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[27] Eコマースで広がる秋田の未来 (若者による地域活性化の可能性)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 法律学科 准教授 石川 雅敏 (計1名)
授業概要	Eコマースの発展によって、遠く離れた人に様々な商品を届けられる可能性が広がっています。Eコマースを用いた各地の地域活性化の取り組みとノースアジア大学の学生が経営する株式会社さくらの活動を紹介します。		
授業方針	インターネットの普及に伴い、経済におけるEコマースの重要性が増していることを理解し、Eコマースを秋田の発展にどのように組み入れていくかを考える。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 教務課 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4328 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 20名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「Eコマースを用いた地域活性化」 <11月4日(土)13:20~14:50> Eコマースを利用した地域活性化の事例を紹介する</p> <p>第2講: 「学生が経営する株式会社さくらの取り組み」 <11月4日(土)15:00~16:30> (株)さくらにおけるEコマースの取り組みを紹介します</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブID)	[28] 心を知る・心をケアする (高校生のための心理学入門)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 法律学科 講師 瀬戸 泰 (計1名)
授業概要	この授業では、心理学を用いて「自分の心の状態を知る」とともに、「心のケア」に関する代表的な理論や考え方を学びます。「分かりやすく」をモットーに説明しますので、どなたでもお気軽にご参加ください。		
授業方針	資料を配布し、パワーポイントのスライドを用いて対面式の講義を行います。また、自分の心理状態に関する質問紙に回答したり、短時間ですが、話の聴き方に関するペアワークも行う予定です。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 教務課 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4328 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 48名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「心理学で心を知る」 <u><10月7日(土)13:20~14:50></u> 心理学とはそもそもどういったものか、ということについて概要を学ぶとともに、特に臨床心理学(心のケアに関する心理学)に関する代表的な理論を取り上げ、質問紙に回答してみることで自分の心の状態を確認してみます。</p> <p>第2講: 「心理学で心をケアする」 <u><10月7日(土)15:00~16:30></u> 第1講で心の状態を確認したうえで、第2講ではストレスに関係した理論等を踏まえて心のケアの概要について学びます。また、心のケアに関係した「話の聴き方」についても、ペアワークを通して体験してみます。</p>			
その他	持ち物は筆記用具のみで結構です。		
テキスト	講義内容に関する資料を毎回配布します。		
参考文献	-		
関連科目	-		

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[29] 高校生のための世界遺産入門	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 教授 橋元 志保 (計1名)
授業概要	あなたは、世界遺産について、どのくらい知っていますか。その国の宝ともいべき文化財や自然が、世界中にその価値を認められる過程や、保全のための様々な努力に触れて、多文化に関する知識と理解を深めていきましょう。		
授業方針	パワーポイントを使用し、実際に遺跡、建造物、景観、自然等の映像をお見せしながら、わかりやすく世界遺産に関する理解を深めます。世界遺産にまつわる歴史・文化、保全のための努力、異文化理解等を具体的に学ぶために、クイズや簡単なワークも用意していますので、ぜひ気軽にご参加ください。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 教務課 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 20名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「誰でもわかる!世界遺産入門」			
＜10月28日(土)13:20~14:50＞			
ユネスコ(UNESCO)の役割や、世界遺産の成り立ち、登録までの流れ、その経済効果、保全上の課題等を、日本各地の素晴らしい世界遺産-厳島神社・古都京都の文化財・白川郷・屋久島・白神山地等の25件-に触れながら、具体的に学んでいきましょう。			
第2講: 「世界遺産をめぐる旅に出掛けよう」			
＜10月28日(土)15:00~16:30＞			
イギリスでは、70年振りに英国王の戴冠式が行われました。その豪華絢爛な式典が行われたのは、もちろん世界遺産のウェストミンスター寺院です。そのロンドンから出発して、イギリス各地やヨーロッパ大陸を訪れる、世界遺産をめぐる旅にご一緒に出掛けませんか。			
その他			
テキスト	資料を配布します。		
参考文献	授業時に紹介します。		
関連科目	地理総合・歴史総合・日本史探究・世界史探究		

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[30] ユニバーサルツーリズムとSDGs II (どんな人でも楽しめる新しいスタイルの観光)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 准教授 井上 寛 (計1名)
授業概要	ユニバーサルツーリズムとSDGsの共通点は「誰ひとり取り残さない」という考え方。アニメ聖地巡礼、パワースポットやフォトジェニックを巡る旅など、新しいスタイルの観光を「どんな人でも気兼ねなく楽しめる」ためにはどんな工夫やアイデアをすればよいのか。一緒に考えてみましょう。		
授業方針	映像とスライドをみながら、ユニバーサルツーリズムとSDGsについてわかりやすく説明します。資料は当日配布します。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 教務課 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 20名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「ユニバーサルツーリズムとSDGs」			
＜10月7日(土)9:30~11:00＞			
ユニバーサルツーリズムとSDGsという考え方はどのような経緯で誕生したのでしょうか。世界と日本のうごきを観光学の視点から学びます。			
第2講: 「どんな人でも楽しめる新しいスタイルの観光」			
＜10月7日(土)11:10~12:40＞			
アニメの聖地巡礼、パワースポットやインスタ映えする場所を巡る旅。さまざまな新しいスタイルの観光の取り組みを学んだうえで、どんな人でも気兼ねなく楽しむことができる新しいスタイルの観光を創るためにはどのようにしたらよいのかを一緒に考えてみましょう。			
その他	スライドや映像を使って講義を行います		
テキスト	必要に応じて資料を配布します		
参考文献	授業内で紹介します		
関連科目	地理総合、地理探求 公共(現代社会)、 政治・経済		

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[31] 「となりのトトロ」の映画翻訳 から探る英米文化と日本文化の比較	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 准教授 三浦 薫 (計1名)
授業概要	日本でも海外でも人気のジブリ映画「となりのトトロ」の中から、特に何場面かを取り出し、日本語のせりふと英語字幕がまるで違っていることに注目し、なぜそこまで違うのかの理由を考える。そこには文化の差があることに気付いてもらい、「言語と文化の関係」を知ること、高校生が英語という言語を学ぶことの楽しさに繋げたい。		
授業方針	一方的に講義を進めるよりは、参加高校生に「自分で考える機会」を提供しながら進めたい		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 教務課 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 15名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「となりのトトロ」の映画翻訳から探る英米文化と日本文化の違い 前編 <u><10月12日(木)17:30~19:00></u> ジブリ映画の英語字幕と日本語には大きな違いがあるが、その違いはなぜ生まれたかを探る			
第2講: 「となりのトトロ」の映画翻訳から探る英米文化と日本文化の違い 後編 <u><10月19日(木)17:30~19:00></u> 英語と日本語の後ろに広がる文化に心を馳せることで英語がおもしろくなる			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[32] 歩きスマホを罰したい！ (具体例から思考する刑法入門)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 講師 海老澤 侑 (計1名)
授業概要	海老澤は歩きスマホが大っ嫌いです。何とかして重い罰を加えたいと常々思っています。では、それは可能なのか？ 可能であれば、どこまでの罰が許される？ 刑法学の原則を使いながら考えていきたいと思ひます。		
授業方針	刑法の基本原則を理解し、自らの頭で「犯罪と刑罰」の関係性を考えられるようにしてもらう。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 教務課 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4328 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 15名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「歩きスマホを刑法的観点から考える」 <10月7日(土)13:20~14:50> 刑法の基本原則を紹介した上で、問題となるものの罪と罰を紹介する</p> <p>第2講: 「歩きスマホを何としてでも処罰する！」 <10月14日(土)13:20~14:50> 歩きスマホの処罰可能性を検討し、あわせて代替策にも目を向けていく</p>			
その他			
テキスト	2回とも教材(プリント)を配布する。		
参考文献	授業時に紹介する。		
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	日本赤十字秋田看護大学
科目名 (サブタイトル)	[33] 人間の性について考えてみよう (母性看護学と性教育の視点から)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	看護学部 看護学科 教授 丸井 淑美 (計2名)
授業概要	高校生の皆さんは、思春期を迎え、自分の心と体の変化を感じていると思います。本科目では妊娠のしくみと性（セクシュアリティ）の多様性の視点から、人間の性について理解を深めることを目的としています。		
授業方針	講義は下記の担当者が行います。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	日本赤十字秋田看護大学・南部直気（平日9：00～17：00） 電話：018-829-2229 E-mail: conso@std.rcakita.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：48名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「妊娠のしくみ」 講師 渡邊 美奈子 <u><11月25日(土)9：30～11：00></u> 皆さんはどうやって産まれてきたのでしょうか。妊娠、出産のしくみ、子育ての実際についてお話しします。親ってすごい、赤ちゃんってすごい、を感じてみませんか。一緒に、“生”と”性”について学んでみましょう。</p> <p>第2講：「性の多様性を考える」 教授 丸井 淑美 <u><11月28日(火)17：30～19：00></u> 「性の多様性」という言葉から、みなさんはどんなことを思い浮かべますか？近年、LGBTQ、SOGIEという言葉がよく目にするようになりました。性の多様性について、まずは基礎から学んでみましょう。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	日本赤十字秋田看護大学
科目名 (サブタイトル)	[34] 赤十字への招待 (人道支援の理念と活動)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	看護学部 看護学科 講師 新沼 剛 (計3名)
授業概要	赤十字の歴史、組織、活動原則、および人道支援を概観し、赤十字に関する理解と関心を深めることを目的としています。		
授業方針	講義は下記の担当者が行います。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	日本赤十字秋田看護大学・南部直気 (平日9:00~17:00) 電話: 018-829-2229 E-mail: conso@std.rcakita.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 30名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「赤十字の誕生: アンリー・デュナンと国際赤十字・赤新月運動」 教授 廣渡 太郎 <u><10月20日(金)17:30~19:00></u> 赤十字はどのようにして生まれたのか。赤十字の父アンリー・デュナンの描いた夢から赤十字の歴史をひもときます。</p> <p>第2講: 「国際赤十字・赤新月運動の組織」 講師 新沼 剛 <u><10月27日(金)17:30~19:00></u> 国際赤十字・赤新月運動の構成体である赤十字国際委員会 (ICRC)、国際赤十字・赤新月社連盟 (IFRC)、各国赤十字・赤新月社の使命および活動について理解を深めます。</p> <p>第3講: 「人道支援の規範 —国際人道法と赤十字の基本原則—」 講師 新沼 剛 <u><11月17日(金)17:30~19:00></u> 国際的規範の観点から、紛争地における赤十字の活動がどのように保障されているのかについて理解を深めます。</p> <p>第4講: 「国際赤十字・赤新月運動による人道支援の実際」 講師 新沼 剛 <u><11月24日(金)17:30~19:00></u> 近年発生した武力紛争および災害を事例に、各赤十字機関がどのような活動を展開しているのかを紹介します。</p> <p>第5講: 「災害・紛争時の心理社会的支援 (こころのケア) と国際赤十字・赤新月運動」 准教授 齋藤 和樹 <u><12月1日(金)17:30~19:00></u> 国際赤十字・赤新月運動が災害・紛争等緊急時の人道危機に展開する心理社会的支援 (いわゆる「こころのケア」) を紹介します。</p>			
その他	<p>本科目は看護系の科目ではありません。人道支援、国際関係論、国際機構論、国際法などに関心のある方向けの科目となります。</p> <p>尚、授業形式は以下のようになります。 第1・5講: 対面授業 (カレッジプラザ) 第2~4講: 対面 (カレッジプラザ) とリアルタイム遠隔の併用型授業 ※第2~4講の併用型授業の連絡先は新沼 (ninumarcakita.ac.jp) になります。</p>		
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[35] 「湧水地点(ゆうすいちてん)」の 取り組みの紹介 (ものづくりの可能性について考える)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術学科 教授 熊谷 晃 (計1名)
授業概要	秋田公立美術大学ものづくりデザイン専攻教員の研究成果を、分かりやすく解説します。「湧水地点(ゆうすいちてん)」という研究発表の展覧会会場で、研究成果の解説と今後のものづくりの可能性について皆さんと意見交換します。		
授業方針	デジタルカメラやスマートフォン等記録できる物とメモ用紙、筆記具等を準備していただき、各教員の研究のポイントなどを記録してもらいます。		
会場・教室	旧松倉家住宅		
会場住所	秋田市旭南二丁目7番29号		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 (平日8:30~17:15) 電話: 018-888-8105 E-mail: kyomu@akibi.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 10名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「「湧水地点の取り組みの紹介」①」 <11月5日(日)13:20~14:50> ものづくりデザイン専攻教員・助手による研究成果を解説します。各素材や技法の解説も含め、共同研究や共同制作の取り組み、社会への提案など、実践的な取り組みを紹介します。受講生は、講義の内容を記録し、まとめたものを後日提出してもらいます。			
第2講: 「「湧水地点の取り組みの紹介」②」 <11月5日(日)15:00~16:30> 鑑賞者の皆さんと質疑応答を交えながら、ものづくりの可能性や素材と技法についての解説を行います。また、作者からの聞き取りの時間を設け、共同制作や共同研究の内容について、鑑賞者(参加生徒)の感想をまとめたものを、簡単に発表していただきます。			
その他	デジタルカメラやスマートフォン等の記録できる物、メモ用紙、筆記用具		
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	聖霊女子短期大学
科目名 (サブタイトル)	[36] 多様な子どもと共に育つ保育 (遊び体験や事例検討を通して学ぶ保育の原理)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生活文化科生活こども専攻 教授 大曾 基宣 (計1名)
授業概要	本授業では、多様な子どもと共に育つ保育の基本となる「子ども理解」や「子どもの育ちを捉える基本的な考え方」について、事例検討や国内外の遊び体験を通して学びます。		
授業方針	授業中に意見交換をする機会を設けます。他者の意見を肯定的に受け入れ、自身の考えを広げる姿勢で授業に臨んでいただくことを期待しています。		
会場・教室	聖霊女子短期大学 CB04教室		
会場住所	秋田市寺内高野10-33 (秋田駅西口より秋田中央交通バス 土崎方面 (新国道経由) 「高野二区」下車 (340円))		
欠席連絡先	聖霊女子短期大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-845-4111 E-mail: tandaijimu@akita-seirei.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 20名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「多様な子どもと共に育つ保育: 事例を通して原理を学ぶ」 <u><10月21日(土)9:30~11:00></u> 保育における「子ども理解」「子どもの育ちを捉える基本的な考え方」について、事例検討を通して学びます。			
第2講: 「多様な子どもと共に育つ保育: 遊びを通して共有するもの」 <u><10月21日(土)11:10~12:40></u> 国内外の様々な遊び体験を通して、多様な子どもが共に育つ保育環境について考えます。			
その他	上履き、筆記用具を各自ご持参ください。		
テキスト	資料は担当者が用意します。		
参考文献	適宜、案内します。		
関連科目	教育原理 保育内容 (環境) A・B		

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	聖霊女子短期大学
科目名 (サブタイトル)	[37] 学校卒業後における知的障がいのある青年の生涯学習機会	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生活文化科生活こども専攻 講師 寺谷 直輝 (計1名)
授業概要	今年度、秋田県教育委員会と大館市は、文部科学省の「学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業」を受託しています。知的障がいのある青年の生涯学習活動に焦点を当てて、政策動向と実践動向を解説します。		
授業方針	青年期の知的障がい者に関する講義が中心となりますが、科目担当者が関わってきた様々な現場や事業の写真を提示したり事例を伝えたりしながら、分かりやすく授業をします。		
会場・教室	聖霊女子短期大学 CB02教室		
会場住所	秋田市寺内高野10-33 (秋田駅西口より秋田中央交通バス 土崎方面 (新国道経由) 「高野二区」下車 (340円))		
欠席連絡先	聖霊女子短期大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-845-4111 E-mail: tandaijimu@akita-seirei.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 20名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「知的障がいのある青年の特別支援学校卒業後の学習機会に関する政策動向」 <u><11月25日(土)9:30~11:00></u> 知的障がいのある青年が参加できる学習機会は、これまでどのような広がりを見せてきたのでしょうか。また、近年、文部科学省が「特別支援教育の生涯学習化」政策を推進しています。政策の動向を紹介します。</p> <p>第2講: 「知的障がいのある青年の特別支援学校卒業後の学習機会に関する実践動向」 <u><11月25日(土)11:10~12:40></u> 前時の講義を踏まえて、文部科学省が政策として推進する前から実践は積み重ねられてきました。例えば、障害福祉サービス事業所や大学などで行われてきました。実践の動向を紹介します。</p>			
その他	①上履き、筆記用具を各自ご持参ください。 ②秋田の文化活動を深く理解することができる科目です。		
テキスト	資料は担当者が用意します。		
参考文献	適宜、案内します。		
関連科目	公共 総合的な探究の時間 家庭 職業 (特別支援学校高等部)		

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	聖霊女子短期大学
科目名 (サブタイトル)	[38] 食品と栄養の基礎知識	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生活文化科 健康栄養専攻 講師 豊嶋 瑠美子 (計2名)
授業概要	栄養士養成課程で学ぶ栄養学、応用栄養学、調理学といった分野について、基礎的な演習・実習も取り入れながら学びます。第1講は講義、第2講・第3講は、講義と実習を組み合わせ、調理を体験してみます。		
授業方針	大学で行っている栄養学の授業を身近に感じ、「食」に興味を持ってもらうために、講義と調理実習で構成します。		
会場・教室	聖霊女子短期大学 P103教室 ※第2講、第3講はP102教室、103教室		
会場住所	秋田市寺内高野10-33 (秋田駅西口より秋田中央交通バス 土崎方面 (新国道経由) 「高野二区」下車 (340円))		
欠席連絡先	聖霊女子短期大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-845-4111 E-mail: tandaijimu@akita-seirei.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 20名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「お弁当の献立作成」 講師 豊嶋 瑠美子 <u><10月21日(土)9:30~11:00></u> 3・1・2弁当箱法を用いてバランスの良いお弁当献立を学びます。</p> <p>第2講: 「調理実習「お弁当の調理」(1)」 講師 豊嶋 瑠美子、助手 秋山 亜樹 <u><11月25日(土)9:30~11:00></u> 第1講で献立作成した内容のお弁当を実際に調理します。</p> <p>第3講: 「調理実習「お弁当の調理」(2)」 講師 豊嶋 瑠美子、助手 秋山 亜樹 <u><11月25日(土)11:10~12:40></u> 第2講に引き続き、お弁当の調理をします。お弁当箱に詰めて彩りなどを確かめながら試食します。</p>			
その他	第2講、第3講は、エプロン・三角巾 (バンダナ等も可) を持参してください。		
テキスト	配付資料		
参考文献	定めない		
関連科目	家庭科、保健体育、生物、化学		

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	聖霊女子短期大学
科目名 (サブタイトル)	[39] 英語の謎とヒミツ (～つづりと発音、人名と地名～)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生活文化科 生活文化専攻 講師 近藤 清兄 (計1名)
授業概要	英語には、長い歴史があり、それを使って生活してきた人々のあゆみや考え方が映し出されています。つづりと発音のとても複雑な関係のわけや、地名や苗字に込められた歴史に焦点をあてて考えていきます。		
授業方針	(1)英語の系統、歴史を概観し、英語の母音体型のしくみを調べ、綴りと発音の関係を歴史的観点から解き明かします。(2)英国人名の種類－職業名、地名由来、ケルト系、フランス系、あだ名由来－を概観し、ハリー・ポッターシリーズの登場人物名を例にとって分類します。また、地名の構成要素を挙げて、実例をみます。あわせて有名人の苗字の実例、多い苗字ランキングを見て、さらにウェールズ、スコットランド、アイルランドといったケルト系の言語と人名について学ぶことで、「もうひとつのイギリス」像に迫ります。		
会場・教室	聖霊女子短期大学 X253		
会場住所	秋田市寺内高野10-33 (秋田駅西口より秋田中央交通バス 土崎方面 (新国道経由) 「高野二区」下車 (340円))		
欠席連絡先	聖霊女子短期大学 (平日9:00～17:00) 電話: 018-845-4111 E-mail: tandaijimu@akita-seirei.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 10名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「英語のつづりと発音の関係－なぜこんなに複雑なの?－」			
＜11月4日(土)11:10～12:40＞			
<ul style="list-style-type: none"> ・英語の系統－印欧語→ゲルマン語派→英語－ ・英語の歴史－チョーサー(1390)からシェークスピア(1590)へ－ ・英語の母音体系 ・つづりと発音の関係－歴史からみる－ [おまけ]英語の野菜の名前			
第2講: 「英国の地名と人名－ハリー・ポッターシリーズを中心にみてみよう－」			
＜11月11日(土)11:10～12:40＞			
<ul style="list-style-type: none"> ・英国人名の種類－職業名、地名由来、ケルト系、フランス系、あだ名由来－ ・ハリー・ポッターシリーズの登場人物名をみる ・地名の構成要素(‑ton(集落)、‑ley(野原、牧場)など) ・有名人の苗字の実例 ・多い苗字ランキング－イングランド・ウェールズ、スコットランド、アイルランド－ ・ケルト系の言語と人名について－もうひとつのイギリス－ [おまけ]英語の草花の名前			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	日本赤十字秋田短期大学
科目名 (サブタイトル)	[40] 身近な社会福祉の問題を考えてみよう	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	介護福祉学科 教授 土室 修 (計2名)
授業概要	私たちが暮らす地域の中にはどのような福祉課題があるのか、それらの解決に向けてどのような仕組みづくりがなされているかについて解説していきます。		
授業方針	講義形式で授業を行います。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	日本赤十字秋田短期大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-829-3000 E-mail: fujisawa@rcakita.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 36名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「秋田の少子高齢化の現状と福祉課題」 教授 土室 修 <11月11日(土)13:20~14:50> 秋田県の少子高齢化や地域社会等の現状を踏まえながら、抱える福祉課題の状況を解説していきます。</p> <p>第2講: 「秋田における介護福祉の課題」 准教授 藤沢 緑子 <11月11日(土)15:00~16:30> 秋田における介護福祉の現状や課題、介護の職場の現状、介護の仕事の特徴(魅力や大変さ)などについて解説していきます。</p>			
その他			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	リアルタイム遠隔授業	大学等名	聖園学園短期大学
科目名 (サブタイトル)	[41] 楽しく学べる保育科入門	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	保育科 准教授 猿田 興子 (計3名)
授業概要	聖園学園短期大学保育科で開講している保育関連科目を複数の教員がオムニバス方式で紹介し、保育に対する興味・関心を高めるとともに、保育科短大での学習活動に対する理解を深めます。		
授業方針	講義や演習を組み合わせながら、簡単な理論と事例学習などを合わせた授業展開を図ります。子どもや保育・幼児教育に興味・関心があれば、事前に難しい知識は必要としません。		
会場・教室	リアルタイム遠隔授業		
会場住所	リアルタイム遠隔授業のため、会場なし（ご自宅等で受講してください）。		
欠席連絡先	聖園学園短期大学 教務課（平日9：00～17：00） 電話：018-862-0337 E-mail: kyomuka@misono-jc.ac.jp		
遠隔授業時連絡先	(当日緊急時のみ) 科目担当者E-mail: kyomuka@misono-jc.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：50名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「保育のおもしろさ～成長につながる遊びと生活～」 准教授 猿田 興子 ＜11月21日(火)17：30～19：00＞ 奥深い乳幼児の世界をエピソードや実習記録を通して、皆さんにお伝えします。			
第2講：「『はらぺこあおむし』もう一人の作者」 講師 大原 かおり ＜11月28日(火)17：30～19：00＞ エリック・カール『はらぺこあおむし』から絵本の「ことば」について考えます。			
第3講：「子どもの発達と保育者の役割」 講師 佐々木 啓子 ＜12月1日(金)17：30～19：00＞ 子どもの発達に必要な援助とは？具体的な事例を通して考えてみましょう。			
その他	第1講：A4コピー用紙、水性カラーペン（数種類） 第2講：（準備できれば構いません）絵本『はらぺこあおむし』（エリックカール作、もりひさし訳、偕成社、1976年） 第3講：特になし		
テキスト	特になし		
参考文献	特になし		
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田職業能力開発短期大学校
科目名 (サブタイトル)	[42] 3Dプリンターの活用法	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生産技術科 講師 村上 佑太 (計1名)
授業概要	現在の設計の主流である3DCADでの部品設計と組立を行う。また、試作として3Dプリンタを用いて造形を行う。		
授業方針	自作テキスト等を用いた3DCADでの部品設計と組立、3Dプリンタを用いた造形。		
会場・教室	秋田職業能力開発短期大学校 209教室		
会場住所	大館市扇田道下6-1 (秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分)		
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校 (平日9:00~17:00) 電話: 0186-42-5600 E-mail: akita-college03@jeed.go.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 10名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「3DCADを用いた部品設計と組立、3Dプリンタを用いた造形。」 <u><10月7日(土)9:30~11:00></u> 3DCADの操作方法から部品の製作、部品の組立。3Dプリンタを用いた造形。</p> <p>第2講: 「3Dプリンターの種類(造形方式)について」 <u><10月7日(土)11:10~12:40></u> 3Dプリンタを用いた造形、各種造形方式・切削方式との比較</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田職業能力開発短期大学校
科目名 (サブID)	[43] Webアプリケーションの製作 (Ruby on RailsによるWebアプリケーション開発)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	電子情報技術科 講師 細井 遼太郎 (計1名)
授業概要	GoogleやAmazonなどに代表されるWebアプリケーションは、フレームワークという仕組みを使うことで比較的簡単に作成、動作させることができます。本講義では、Railsフレームワークを用いてWebアプリケーションを開発します。		
授業方針	自作テキストを用いた講義と実習により進めます。		
会場・教室	秋田職業能力開発短期大学校 304教室		
会場住所	大館市扇田道下6-1 (秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分)		
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校 (平日9:00~17:00) 電話: 0186-42-5600 E-mail: akita-college03@jeed.go.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「Webの仕組み」 <u><11月25日(土)9:30~11:00></u> ①インターネットとは ②Webとは ③ホームページの仕組み ④HTML作成体験 ⑤動的なページの必要性 ⑥Webアプリケーションの仕組み</p> <p>第2講：「Rubyの体験」 <u><11月25日(土)11:10~12:40></u> ⑦プログラミング言語 ⑧Ruby言語 ⑨Rubyの体験(演算、制御構文、オブジェクトの扱い)</p> <p>第3講：「WebアプリケーションとRailsフレームワーク」 <u><11月25日(土)13:20~14:50></u> ⑩Webアプリケーションの構成 ⑪Railsフレームワーク ⑫Railsの体験(コントローラの作成、ルーティング、モデルの作成、ビューの作成)</p> <p>第4講：「メッセージ投稿アプリの作成」 <u><11月25日(土)15:00~16:30></u> ⑬メッセージ投稿アプリの作成</p>			
その他	いくらかタイピングを行ってもらいます。自信が無ければ練習しておくとお実習がスムーズに進みます。		
テキスト	自作テキスト		
参考文献			
関連科目			

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田職業能力開発短期大学校
科目名 (サブID)	[44] 大工用工具の使用 方法 (鉋の使い方について)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	住居環境科 講師 平和 基 (計1名)
授業概要	最近の住宅建築は効率の良い電動工具が多く、鉋の使用は現場での修正程度となっています。しかし宮大工といった精度の高いものづくりでは、なくてはならない道具です。当該科目では鉋の使い方の習得を目的とします。		
授業方針	自作テキストを用いた講義と実習により進めます。		
会場・教室	第1講・第2講：秋田職業能力開発短期大学校 224室 第3講・第4講：112建築施工実習場		
会場住所	大館市扇田道下6-1 (秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分)		
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校 (平日9:00~17:00) 電話：0186-42-5600 E-mail: akita-college03@jeed.go.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「鉋について」 <u><12月2日(土)9:30~11:00></u> ①鉋の構造</p> <p>第2講：「鉋について」 <u><12月2日(土)11:10~12:40></u> ②鉋の種類 ③鉋の歴史</p> <p>第3講：「鉋の使用方法について（鉋削り）」 <u><12月2日(土)13:20~14:50></u> ④鉋の持ち方 ⑤鉋刃の出し方 ⑥鉋刃の抜き方</p> <p>第4講：「鉋の使用方法について（鉋削り）」 <u><12月2日(土)15:00~16:30></u> ⑦鉋刃の合わせ方 ⑧木の削り方（鉋削り）</p>			
その他	持ち物は特にありません。動きやすい服装で参加ください。		
テキスト	当日配布します（自作テキスト）		
参考文献			
関連科目			